

ヤマダホールディングスグループ

行動規範

CONTENTS

02

行動規範とは

03

行動規範の運用方法

04

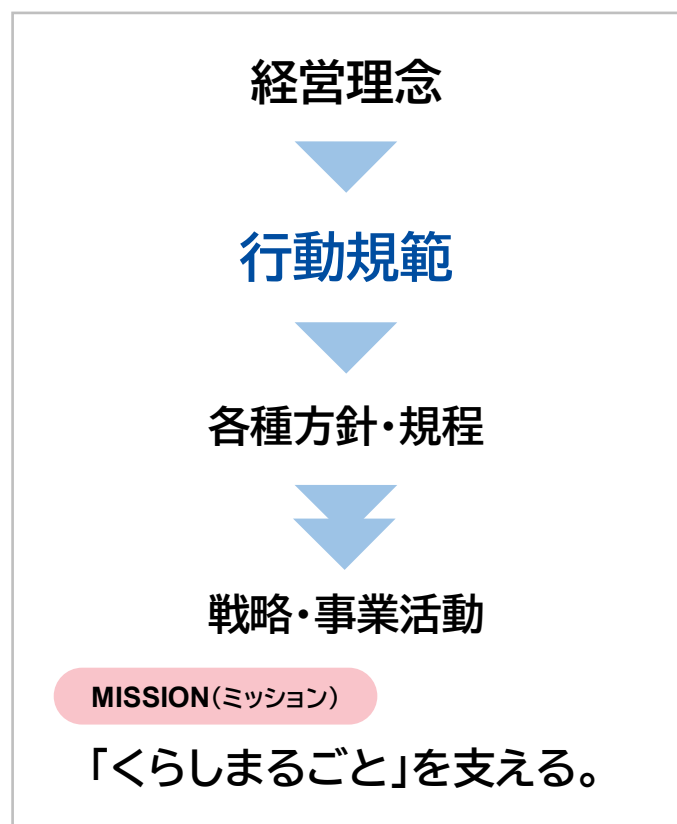
各項について

16

ヤマダホールディングスグループ 行動規範

行動規範とは

行動規範はヤマダホールディングスグループの経営理念「創造と挑戦」「感謝と信頼」をもとに、当社グループの一人として役員および従業員が、あらゆるステークホルダーとの信頼関係を構築・維持・向上させるために遵守しなければならない「**正しい行動**」を定めたものです。



▲当社グループにおける「行動規範」の位置づけと企業価値向上のフロー図

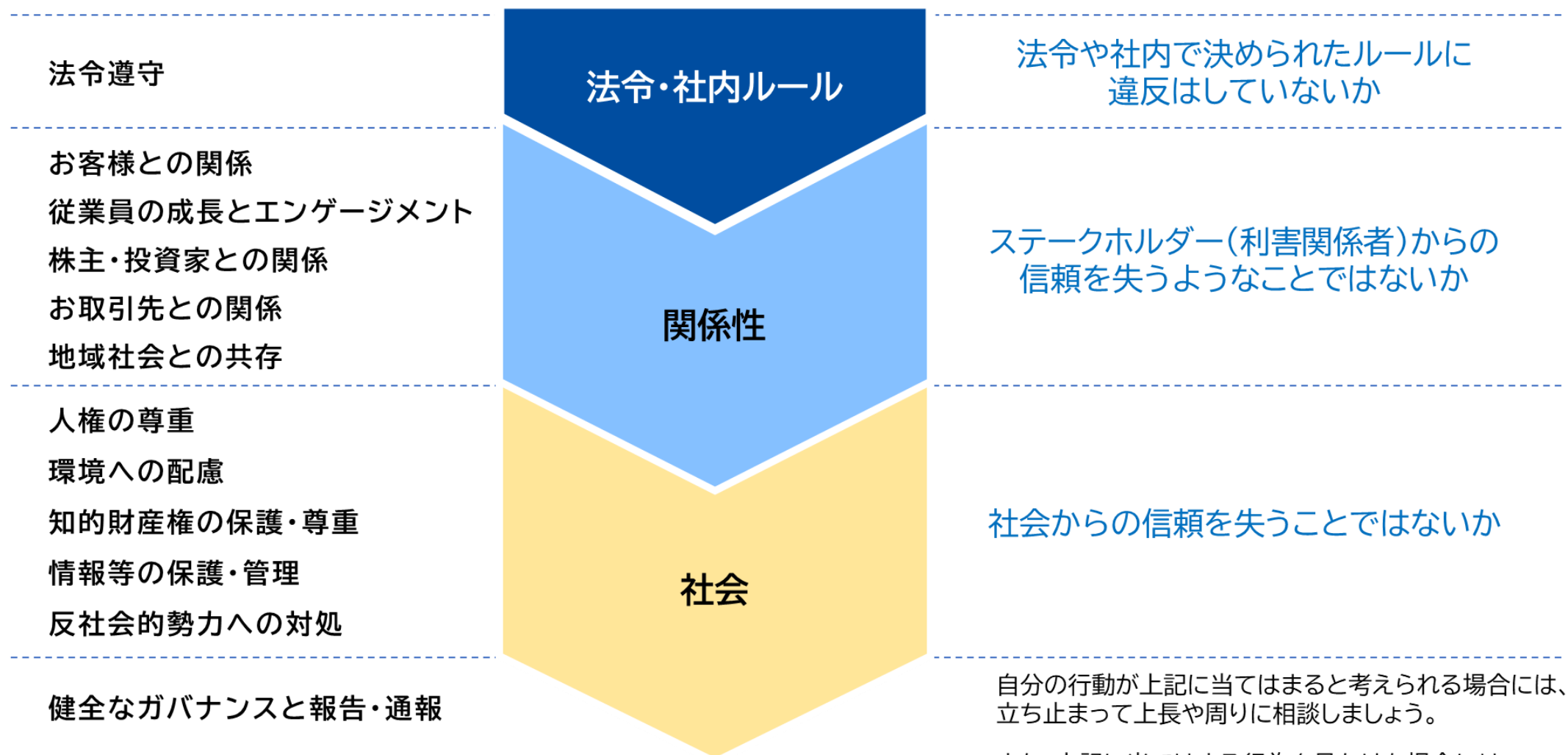
行動規範の適切な運用のメリット

- ✓ リスクを未然に回避、または軽減
- ✓ ガバナンスの強化
- ✓ 企業価値向上

など

行動規範の運用方法

判断に迷った際には、各行動規範の問いに従いながら考えます。



1

法令遵守

私たちはあらゆる法令やルールを厳格に遵守し、公正かつ誠実な企業活動を行います。

最重要事項として

行動規範における最重要事項です。まずは法令や会社のルールに背いていないかを確認しましょう。

法令遵守は信頼に大きく関わることです。自らの行為が法令に違反している場合には、直ちに立ち止まってください。
また該当行為を見かけた場合には、速やかに上長や当社グループの「内部通報制度」を通じて報告をしましょう。
(※「12.健全なガバナンスと報告・通報」へ)

2

お客様との関係

私たちにとってお客様は、すべての事業活動の起点です。

安全・安心かつ、すべての人に喜んでいただける商品・サービス・店舗のあり方を追求します。

感謝と信頼

当社グループのすべての事業は「お客様」がいなくては成り立ちません。

「感謝」の心を忘れずに事業活動を行います。

1人のお客様からの信頼を失うことが、その後の多くのお客様を失うことにもつながりかねません。

3

従業員の成長とエンゲージメント

私たちは、「人」を最も重要な経営資源と認識し、従業員一人ひとりが能力と個性を最大限に発揮できるよう、公平かつ公正な評価を通じて成長を促します。

また、自律的なキャリア形成のための挑戦機会や充実した研修制度を通じた多様な能力開発を継続的に支援するとともに、従業員エンゲージメントの向上に努めます。

多様な個性が創る組織

誰しもが異なる能力と個性を持っています。

それらを認め、正しく評価しあうことが良好な環境を創出し、個々の挑戦と成長につながり、その一人ひとりの成長が強い企業を形作っていきます。

一方、多様な能力や個性を持つ人材の流出や成長抑制は、企業活動の停滞のリスクとなります。

4

株主・投資家との関係

私たちは、株主・投資家の皆様からの期待に応えるため、エンゲージメントを強化し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。

また、適時・適切に情報を開示し透明性の高い企業活動を推進するとともに、インサイダー取引防止に努めます。

適切な情報開示に向けて

当社グループでは、統合報告書をはじめ、企業サイトなどで情報の開示を行います。

インサイダー取引

業務で知り得た公開前の重要情報から株式などを売買する「インサイダー取引」は禁止されています。

5

お取引先との関係

私たちは、あらゆる不適切な行為を防止し、公平・公正な取引を通じて
サプライチェーン全体と信頼関係を築きながら、
ともに発展するパートナーとしてさらなる絆を深め、共存共栄を図ります。

共に高め合う

お取引先の皆様は、当社グループにとって大切なパートナーです。
当社グループでは「取引方針」を設け、公平・公正な取引を行います。



取引方針

(<https://www.yamada-holdings.jp/info/policy/trading-policy.html>)

6

地域社会との共存

私たちは、全ての店舗や営業所などが地域の方々に愛され支えられて初めて存在意義を持つことを自覚し、地域の皆様と共存をはかり、社会インフラを支える企業として地域社会が抱える課題の解決に貢献します。

地域密着

地域社会の活性化は当社グループの成長に直結します。
事業活動を通じて、地域の皆様の暮らしを支え続けた先に課題の解決が見えてきます。



ヤマダホールディングスグループ

サステナビリティニューストピックス

(<https://www.yamada-holdings.jp/csr/monthly/>)

7

人権の尊重

私たちは、常に人権や多様性を尊重し、
人種・国籍・性別・宗教などを理由とした差別やハラスメントを防止し、
児童労働や強制労働などの非人道的活動に関与しません。

お互いの人格や個性を尊重し、安全と健康に配慮した労働環境の整備に努めます。

誰もが持つ権利として

当社グループでは「人権方針」を設け、全役員と従業員が人権に関する国際規範を支持し、お互いの人格や個性を尊重するための取り組みを推進しています。業務上、発生したハラスメント（パワハラやカスハラなど）については、適切に対処します。



人権方針 (<https://www.yamada-holdings.jp/info/policy/human-rights.html>)

8

環境への配慮

私たちは、事業活動を行うにあたり、
資源の有効利用、再資源化、省エネルギー、廃棄物の削減、環境汚染の予防に努め、
環境負荷低減と収益の双方を考慮した取り組みを進めます。

「つなぐ、ミライへ。」

当社グループでは、グループ内で製品のライフサイクルを完結することで社会全体の環境負荷低減に貢献しています。
また、一人ひとりの小さな配慮の積み重ねが、地球環境への大きな影響をもたらすことを忘れてはいけません。



環境方針 (<https://www.yamada-holdings.jp/info/policy/environmental.html>)



サステナビリティ基本方針 (<https://www.yamada-holdings.jp/info/policy/csr-ethics.html>)

9

知的財産権の保護・尊重

私たちは、自らの知的財産を保護・管理し、効果的に活用するとともに、
他者の知的財産を尊重し、これを侵害しません。

知的財産権

知的財産権は、大きく2種類に分類されます。

- ・技術やデザインや名前などの「産業財産権」
- ・小説や音楽、映画など創作物(著作物)の「著作権」

第三者の技術や著作物を模倣し、無断で利用、複製販売することは法律で禁止されています。

10

情報等の保護・管理

私たちは、事業活動を通じて取り扱う個人情報や機密情報などに関して、個別方針および社内規程に従い、適切な保護・管理を徹底します。

信頼される企業へ

情報の流出やそれら引き起こす可能性のある行為は、大きく信用を失います。

業務上の機密情報や個人情報などを取り扱う場合には、責任を持って管理・保護します。

不正アクセスや意図せず情報が流出、またはその恐れがある場合には、速やかに上長に報告し、然るべき対応を行います。



AI倫理方針

(<https://www.yamada-holdings.jp/info/policy/ai-ethics-policy.html>)

11

反社会的勢力への対処

私たちは、反社会的勢力との関係を一切持たず、また反社会的勢力による不当要求には一切応じません。

常に社会常識と正義感を持ち、毅然とした態度で対応します。

毅然とした対応

反社会的勢力との関係を持つことで、さまざまな契約や取引の停止を引き起こします。

不当要求などに対しては、上長や関係部署に指示を仰ぎ対応します。

12

健全なガバナンスと報告・通報

私たちは、本行動規範に違反する、または違反するおそれのある行為を発見した場合、速やかに上長に報告するか、内部通報制度を利用します。

会社は通報者に対し、いかなる不利益な取扱い（報復行為）も行いません。

健全な労働環境のために

会社はあなたの勇気ある行動に対して、不利益な取扱いはしません。

【不利益な取扱い・報復行為の例】

通報や調査協力を理由とした、降格や減給、異動、ハラスメントなど

ヤマダホールディングスグループは、経営理念「創造と挑戦」「感謝と信頼」をもとに役員および従業員が「行動規範」を遵守し、全てのステークホルダーとの信頼関係構築に努め、社会に求められる企業であり続けます。

法令遵守

私たちは、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、公正かつ誠実な企業活動を行います。

お客様との関係

私たちにとってお客様は、すべての事業活動の起点です。安全・安心かつ、すべての人に喜んでいただける商品・サービス・店舗のあり方を追求します。

従業員の成長とエンゲージメント

私たちは、「人」を最も重要な経営資源と認識し、従業員一人ひとりが能力と個性を最大限に発揮できるよう、公平かつ公正な評価を通じて成長を促します。また、自律的なキャリア形成のための挑戦機会や充実した研修制度を通じた多様な能力開発を継続的に支援するとともに、従業員エンゲージメントの向上に努めます。

株主・投資家との関係

私たちは、株主・投資家の皆様からの期待に応えるため、エンゲージメントを強化し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。また、適時・適切に情報を開示し透明性の高い企業活動を推進するとともに、インサイダー取引防止に努めます。

お取引先との関係

私たちは、あらゆる不適切な行為を防止し、公平・公正な取引を通じてサプライチェーン全体と信頼関係を築きながら、ともに発展するパートナーとしてさらなる絆を深め、共存共栄を図ります。

地域社会との共存

私たちは、全ての店舗や営業所などが地域の方々に愛され支えられて初めて存在意義を持つことを自覚し、地域の皆様と共存をはかり、社会インフラを支える企業として地域社会が抱える課題の解決に貢献します。

人権の尊重

私たちは、常に人権や多様性を尊重し、人種・国籍・性別・宗教などを理由とした差別やハラスメントを防止し、児童労働や強制労働などの非人道的活動に関与しません。お互いの人格や個性を尊重し、安全と健康に配慮した労働環境の整備に努めます。

環境への配慮

私たちは、事業活動を行うにあたり、資源の有効利用、再資源化、省エネルギー、廃棄物の削減、環境汚染の予防に努め、環境負荷低減と収益の双方を考慮した取り組みを進めます。

知的財産権の保護・尊重

私たちは、自らの知的財産を保護・管理し、効果的に活用するとともに、他者の知的財産を尊重し、これを侵害しません。

情報等の保護・管理

私たちは、事業活動を通じて取り扱う個人情報や機密情報などに関して、個別方針および社内規程に従い、適切な保護・管理を徹底します。

反社会的勢力への対処

私たちは、反社会的勢力との関係を一切持たず、また反社会的勢力による不当要求には一切応じません。常に社会常識と正義感を持ち、毅然とした態度で対応します。

健全なガバナンスと報告・通報

私たちは、本行動規範に違反する、または違反するおそれのある行為を発見した場合、速やかに上長に報告するか、内部通報制度を利用します。会社は通報者に対し、いかなる不利益な取扱い（報復行為）も行いません。